

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	日常的な交流はないが、散歩時や近隣のスーパーへ買物に行った時などは、地域の方と挨拶したりしている。地域の行事は町内の掲示板に掲載されるので、それを見て祭り等に参加している。また、町内に住んでいる職員からも情報を得ている。	×
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は2カ月に1回開催されており、参加者は家族、管理者、職員となっている。家族全員に呼びかけを行い、2～3名の方が参加されている。会議ではホームの状況や行事の報告がされ、家族から出た意見や要望は速やかに対処されている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	母体法人が市町村へ変更届等の書類提出のため、訪問はしているが、ホーム独自の関わりは行っていない。	×
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	管理者は職員のどんな小さな要望や希望等にも耳を傾け、助言を行っている。職員からは「心の広い管理者で落ち着ける」との声が聞かれた。休憩時間は1時間確保されており、自由に使うことができ、休憩時間内であれば外出することもできる。2カ月に1回程度、職員の食事が開催されており、関係づくりに努めている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

日常的な交流はないが、散歩時や近隣のスーパーへ買物に行った時などは、地域の方と挨拶したりしている。ホームの存在を知ってもらうためにも、地域の役員の方との関わりから、日常的な交流へと繋げていくことが期待される。運営会議は2カ月に1回開催され、全家族に案内を出し参加を呼びかけている。会議ではホームの状況や行事の報告がされ、家族から出た意見や要望は速やかに対処されている。市町村の関係については、これから積極的に情報提供を行っていきたいと考えている。
---

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。